大庭みちよし後援会ニュース

Ohba Michiyoshi kouenkai News

No.161
2015
春号

防潮堤は、海岸防災林の自転車道と二線堤との窪地を津波を防ぐ高さ（標高12m）まで盛土して行う。盛土実施のために保安林を伐採し、盛土終了後に保安林の再生（植栽）を行い、飛砂や潮害の防止を図っていく。事業は県と市で協力して整備する。整備延長約5.35km、内、約4kmは県との連携事業、全体盛土約120万㎥、概算工事費15億円程度を予定している。なお、防潮堤建設など防災対策全般に「袋井市ふるさと防災寄付金」を募っているが平成27年3月26日現在161件、29,778,497円が寄せられている。

浅羽海岸に津波対策として静岡モデル（防潮堤）の工事着手がされた。防潮堤の盛土の様子を確認する大庭議員。
2015.3.30

平成27年度スタート

心地よい季節になってまいりました。

後援会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃は大庭後援会に対しまして、格別のご指導、ご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

ところで、あの東日本大震災から４年が経過をいたしました。津波や原発災害のもと、今なお、避難生活をされている多くの被災皆様に重ねてお見舞い申し上げます。

袋井市でも発災後、防災対策には行政・議会をあげて全力で取組んでまいりました。命山や避難タワーの整備、また、昨年静岡モデルの防潮堤整備ということで、本市の海岸線5.35kmを12mに嵩上げする工事に着手しました。

1680年、延宝の大高潮で浅羽の海岸沿いは甚大な被害を受けました。その後、災害を教訓に命山が築かれましたが、そうした江戸時代の大事業同様、平成の防潮堤整備も、後世の人々に語り継がれる事業になるものと思われます。

さて、平成27年度がスタートしました。本年度は合併10周年の記念すべき年です。市では、この節目を祝い5月16日の記念式典をはじめ、防潮堤植樹祭や全国メロンサミット、ＪＲ袋井駅南口広場への彫刻モニュメント設置や、（仮称）市民健康都市条例の制定など様々な事業を予定しています。

また、本年度は、これまで準備を進めてきた総合健康センター（旧病院跡）が5月にオープンを迎えます。健康文化都市の拠点施設として保健・医療・介護の一層の充実が期待されます。さらに、みつかわ夢の丘公園に市営墓園も開園となります。2月定例会では、こうした様々な市の事業について多くの議論が交わされるとともに、私も、一般質問や質疑など通して、本市の当面する課題について質問や提案をさせていただいたところです。

なお、議会においても一層の改革を推進すべく、その規範となる、議会基本条例を今議会で制定いたしました。

いずれにせよ、今年は過ぎ越し合併10年を振り返ると同時に、平成28年度から向こう10年間を見通した市総合計画を策定する、その準備の年にもなります。

多くの課題が山積していますが、これまでの経験を生かして頑張ってまいります。倍旧のご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

袋井市議会議員　大庭通嘉

袋井市2月定例議会報告

平成27年度予算＆「平成26年度補正予算（プレミアム商品券発行など生活緊急支援交付事業1.18億円）」示される

□ 2月定例会開会

平成27年度2月定例会は、さる2月24日に開会し、右表の一般会計をはじめ50議案が市長より、また、議会より2件の議案が提出され、それぞれ審議の結果可決承認され、3月23日に28日間の会期を閉じました。

□上程議案一覧

- ●平成27年度袋井市一般会計予算について
- ●袋井市墓地条例の制定について
- ●袋井市総合健康センター条例の制定について
- ●袋井市議会基本条例の制定について

ほか市長提出議案47件　議員提出議案１件　全議案可決承認

□ 市政運営の方針

合併10周年　実感できる希望と安心　健康文化都市へのさらなる挑戦

●人の輝きを先取る
- ●夢と希望があふれる"次世代を育むまち"
- ●地域や市民とともに"パートナーシップに輝くまち"

●まちの活力を先取る
- ●人や企業に選ばれる"活力あふれるまち"
- ●快適で魅力的な"成長と成熟の調和のとれたまち"

●安全・安心を先取る
- ●市民の生命や財産を守る"骨太な骨格を備えたまち"
- ●心ゆたかにいきいきと"健康に生活できるまち"

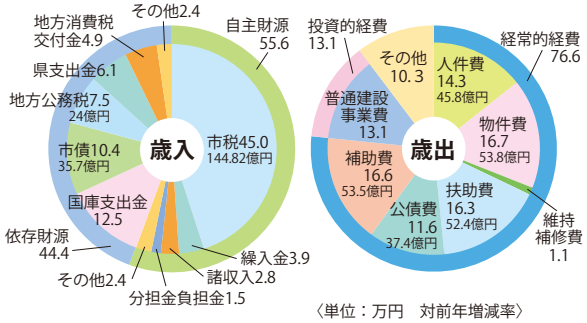
□ 平成27年度予算の概要（歳入）

平成27年度の一般会計は321.8億円で、前年比2.6%の増、また、特別会計、企業会計を合わせた総額は535.47億円で3.7%増となりました。歳入のうち市民税と法人税の合計で前年対比0.5%減の59.28億円、固定資産税が0.1%減、都市計画税0.4減、市税全体としては昨年とほぼ同額の144.82億円の計上となりました。また、地方交付税は20.0%減の24.0億円、市債は9.9%増の35.7億円となりました。これにより実質公債費比率は10%程度（公債費が財政に及ぼす負担で18%以下が望ましい）、地方債の現在高（借金）は昨年より0.7億円減少し、257.73億円となります。なお、経常収支比率が過去最高の91%と財政の硬直化が懸念されています。

□ 主な事業の概要（歳出）

事業の主なものとして、人の輝きを先取る事業として、袋井市版総合戦略事業に100万円（＆H26年度補正1.18億円）を、子育て支援エリア整備に1.08億円を、小中学校トイレ洋式化事業に533万円を、認可保育所開園に1.66億円などを上げています。また、まちの活力を先取る事業として、駅前観光案内所設置事業に5522万円を、市営墓地のみつかわ夢の丘公園に3.34億円を、袋井市駅南地区まちづくり事業に区画整理をはじめ5.253億円を、彫刻のあるまちづくり事業に3283万円を、全国メロンサミット開催に587万円などを上げています。さらに、安心安全のまちづくりに、旧市民病院を改修し保険・医療・介護の拠点施設として今年5月オープンを予定している総合健康センターの開設のために16.81億円を、津波に対する安全施設の命山（中新田、湊西、東同笠・大野）の造成に2.62億円を、防潮堤整備事業に5980万円を、同報無線デジタル化整備事業（浅羽局全71局分）に2.75億円を、上水道基幹管路耐震化事業に1.763億円を、4中学の武道場の避難所等天井落下防止対策事業として6000万円を、市制施行10周年事業として562万円を、それぞれ計上しています。

袋井市平成27年度一般会計予算　単位：%



〈単位：万円　対前年増減率〉

一　般　会　計		3,218,000	2.6
特　別　会　計			
	土地取得	30,000	0.0
	国民健康保険	938,500	12.6
	後期高齢者医療	60,100	-4.0
	介護保険	546,400	-3.7
	公共下水道	187,200	-1.0
	農業集落排水	1,630	-0.6
	駐車場	6,700	-4.3
	墓　地	13,000	皆増
	小　計	1,783,530	5.5
企　業　会　計			
	水　道	237,400	0.7
	聖隷袋井市民病院	115,800	15.5
	小　計	353,200	5.1
総　額		5,354,730	3.7

平成27年度主な事業一覧

〈◎新規事業　単位：万円〉

●人の輝きを先取る	
市制施行10周年記念式典	562
袋井市版総合戦略	100
子育て支援エリア整備	10,800
学校トイレ洋式化事業	533
たんぽぽ第2他保育園の開園	16,679
●まちの活力を先取る	
駅前観光案内所設置事業	5,522
袋井市夢の丘墓園の開園	33,487
袋井駅南地区まちづくり事業	52,539
彫刻のあるまちづくり事業	3,283
全国メロンサミットの開催	587
●安心安全を先取る	
総合健康センターオープン	168,133
命山整備事業（中新田ほか）	26,245
静岡モデル防潮堤整備事業	5,980
同報無線デジタル整備事業	27,500
上水道基幹管路耐震化事業	17,630
避難所等落下防止対策事業	6,000

□総合健康センターオープン

旧袋井市民病院の跡地に今年5月から保健センターや社会福祉協議会が統合され、保健・医療（聖隷病院）・介護の拠点施設としてオープンする。

□命山整備事業

（写真は湊の命山H25年度竣工）

湊の命山に続き、今年度中新田（H28.1完成予定）、湊西、東同笠・大野地区（H28年度完成予定）に命山整備を予定している。

□たんぽぽ第2保育園　どんぐり保育園

たんぽぽ第２保育園（写真）定員70人が4月1日開園、どんぐり保育園は定員60人で認可保育所への移行支援等、子育て支援が進んでいる。

□袋井駅前観光案内所

JR袋井駅舎東側に観光案内所を設置する。実施設計を6月末、整備工事を遠州袋井の花火終了後着手、来年4月のオープンを予定している。

大庭の一般質問

■環境政策

太陽光発電計画は

問　住宅への太陽光発電設置の本市の計画は、平成30年に4,000件（現在1,875件）を目標に進めている。来年度、固定買い取り価格も引き下げられ、また、市の補助金も上限12万円を6万円に引き下げるなかで、目標達成ができるのか。

答　目標が高すぎるとの感じもしている。今後、環境対策委員会で協議して判断したい。

問　奨励金を引き下げた根拠はなにか。

答　1kw当たりの自己負担額が平成18年度65万円余だったが、平成26年度は31万円余と下がっている。また、近隣市町の奨励金の平均が5.3万円であり、本市が12万円を6万円に下げても近隣市町より高い奨励金である。

住宅への太陽光発電設置のようす

問　学校やメロープラザなど、公共施設への太陽光発電設置はどのように進めるのか。

答　平成30年までに20施設に設置するという目標だが、現在12施設への設置に止まっている。遅れているのでピッチを上げたい。

問　袋井市の太陽光発電の普及率はどうか。

答　現在8.5％で、県下では裾野の8.7％に次いで２番目となっている。1位を目指したい。

新エネルギー機器の導入状況は

問　太陽光発電以外の導入状況は。

答　平成18年度から、太陽熱利用のシステムが45台、太陽温水器299台、ヒートポンプ型の高効率給湯器3387台、ハイブリッド車520台、電気自動車33台、電動バイク2台、風力発電が1基となっている。エネルギー機器とは異なるが、60才以上を対象にした電動アシスト自転車の貸し出し事業においては、自転車15台に対し37人の応募があった。

■人事政策

10年間で58名を減員（削減）

問　国の指導に基づき定員適正化計画を立て、職員の減員（削減）を進めている。平成17年度571名いた職員を平成27年度、504名に減員・削減するとの計画は達成可能か。

答　67名減員する計画だったが、58名の減員・削減に止まり達成は困難となった。

問　減員・削減できなかった理由は何か。

答　行政需要の多様化や、権限移譲により市の業務が増大した。また、技術職員や保育士、幼稚園教員などの、職員採用をしたため。

問　定員管理計画（減員・削減計画）は、適切な方針の下に計画的な推進が出来ているか。

答　行政改革の柱として事務事業の見直しや民間委託や、指定管理制度の導入、情報化の推進等により定員の適正化に努めている。

人件費が増加している

問　正規職員は目標未達成ながら削減してきたが、逆に嘱託や臨時職員は大幅に増加した。また、トータル人件費も増加し問題だ。

答　指摘の通り、平成17年度253人いた臨時や嘱託職員が平成25年度390人と計137人増加している。人件費もトータルで約2.79億円増加となっている。

退職者が多過ぎるのは問題

問　平成17年度の合併以降、571人いた職員のうち退職者と採用人員は。

答　平成17年度から平成26年度までの定年退職者は91名、早期退職者が163名。採用人員は181名。

問　平成17年度以降、退職者は合計で254名と多く、この10年間で4割以上が入れ替わっている。人事政策上問題はないか。

答　行政経験豊富な職員の多数退職による組織力低下を防ぐため定年退職者の再雇用制度を導入して対応している。また、職場内での人材育成に努めている。

年齢構成にも偏りが

問　職員に年齢構成（分布）に偏りが見られ今後の人事政策上の問題とならないか。

答　50代が117人、40代が173人、30代141人、20代100人となっている。職員採用にあたり平準化に努めている。

残業時間も増加傾向にある

問　残業手当も大幅に増えている。業務を整理し、やらなくても良い仕事はなくしていくべきだ。

答　平成17年度1.5億円の残業手当が平成25年度は2.3億円に増えている。無駄を省き時間外勤務の削減に努める。

幼保教員の負担が増している

問　幼・保教員も嘱託・臨時職員の比率が増えている。実状はどうか。また、採用状況はどうか。

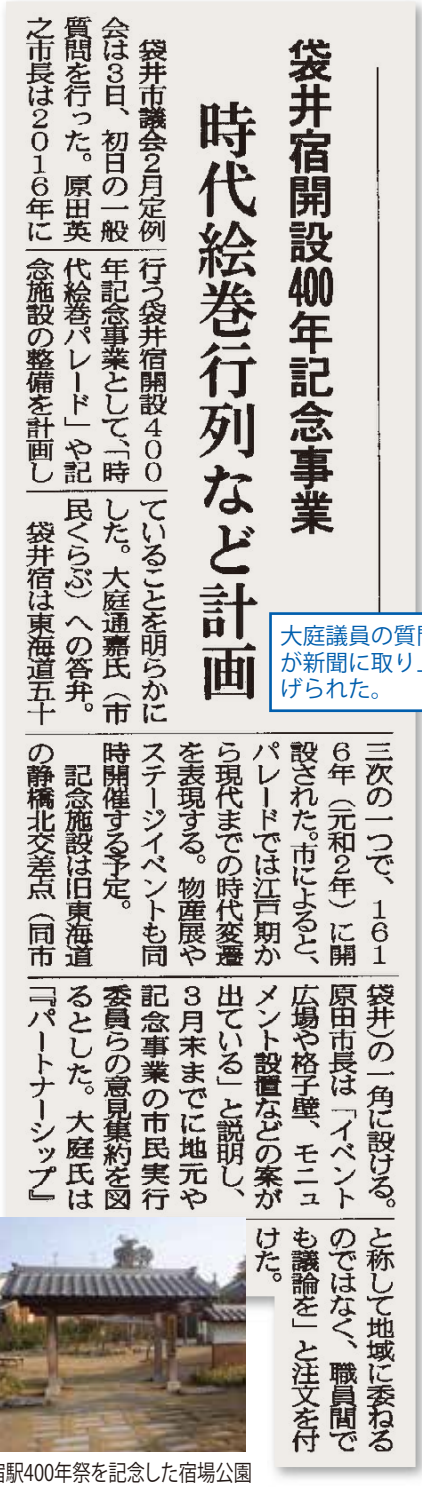
答　現在の幼・保教員は正規94名、嘱託42名、臨時96名、計232名となっている。先生の確保は、近年保育需要の高まりから苦慮している。

■まちづくり

2016年どまん中事業

問　来年10月予定されている袋井宿開設四〇〇年記念事業をどのように進めるか。

答　ソフト事業としては時代絵巻パレードをメーンとした文化、物産、グルメを中心の催しを計画している。ハード事業は、静橋北側交差点、若松屋のところに400年記念のメモリアル施設整備を予定している。



袋井宿開設400年記念事業

時代絵巻行列など計画

袋井市議会2月定例会は3日、初日の一般質問を行った。原田英之市長は2016年に行う袋井宿開設400年記念事業として「時代絵巻パレード」や記念施設の整備を計画していることを明らかにした。大庭通嘉氏（市民くらぶ）への答弁。

袋井宿は東海道五十三次の一つで、1616年（元和2年）に開設された。市によると、パレードでは江戸期から現代までの時代変遷を表現する。物産展やステージイベントも同時開催する予定。

記念施設は旧東海道の静橋北交差点（同市袋井）の一角に設ける。原田市長は「イベント広場や格子壁、モニュメント設置などの案が出ている」と説明し、3月末までに地元や記念事業の市民実行委員らの意見集約を図るとした。大庭氏は「『パートナーシップ』と称して地域に委ねるのではなく、職員間でも議論を」と注文を付けた。

大庭議員の質問が新聞に取り上げられた。

宿駅400年祭を記念した宿場公園

会員さんからの声

大庭後援会には、いつも多くの声が寄せられています。今回は、その中でも墓地公園・草刈り・学校のトイレについて、大庭議員が市の考え方を質問していますので、ご紹介します。

声1 袋井市に市営墓地が出来るって聞きましたが・・・どれくらい、いつ頃から販売されるんですか・・・

みつかわ夢の丘墓園

袋井市では、市営墓地を三川大谷地区に新たに造成し、秋より販売募集します。墓地の需要についてはどの程度あるかとの心配の声もあり、平成26年度、アンケート調査を実施しましたが、3年前の調査同様、多くの需要が見込まれました。こうした調査結果をもとに、市では690区画の需要予測として墓地の造成を進めます。

このため第1期の販売計画を増やすことになり、平成27年度は450基、平成28年度は224基、平成29年度は112基、平成30年度は111基の販売予定となりました。墓所の配置は中央から東側に和式、西側に芝生墓所と壁型墓所を配置します。募集予定は8月の市広報に募集チラシを折り込み、9月下旬から10月下旬までを募集期間とします。使用者と区画を決定する抽選を行った後に抽選結果とともに、当選者には永代使用料と管理料の納付書を送付し、入金後使用許可書を交付することになります。墓園の植栽計画ですが、公園ゾーンは花や果実で四季を感じられるものとし、周辺も落葉樹等色づく木などを植栽し明るい夢のもてる森に育てていきます。市街地から墓地までの交通アクセスは、区画が埋まった段階で検討していきます。

声2 市の草刈り支援、助かっています。今年はどうなりますか・・・

大型乗用草刈り機が活躍

河川愛護事業につきましては、地域の皆様に河川堤防の草刈りをお願いしており、平成26年度も延べ25,000人のご参加をいただき、大変有り難うございました。平成25年度からの地域の実態と要望を把握し、地域のニーズに合わせた草刈り支援体制で、地域のご負担を軽減する取組をしています。全体で約120万㎡のうち危険と判断される危険箇所6万㎡、作業面積の多い地域の広範囲箇所、約25万㎡、合計31万㎡を市が実施し、地域の負担軽減を図るものです。

平成25年度は職員2名体制で乗用の大型草刈り機と肩掛け草刈り機の併用で、危険箇所を業者の委託も含め6万㎡、広範囲箇所を8万㎡、年1回実施しました。26年度は職員を4名に増員し、危険箇所を8.5万㎡、広範囲箇所も14万㎡年2回実施しました。平成27年度は、ユンボ型草刈り機を購入し危険箇所は昨年同様の面積を実施し、また、広範囲箇所は25万㎡を年2回実施する予定です。市内175自治会のうち164自治会で河川愛護を実施しています。この内面積等が多い77の自治会に市の草刈り支援を実施し、地域の草刈りは120万㎡から86万㎡に減少する見込みです。

声3 最近では、家庭で洋式のトイレ経験しか無い子もいて、和式が苦手なんです…トイレの洋式化を進めてください

和式トイレを洋式へ

現在小学校のトイレは全678基中242基、35.7%が洋式、中学校は全307基中58基、18.9%が洋式、幼稚園は全213基中159基74.6%が洋式になっています。校舎内に洋式便器が1基も設置されていない学校が、小学校で9校、中学校で3校あります。平成27・28年度で校舎内において洋式便器が最低1基は設置されるように整備を進めていく予定です。今後は、教育施設の大規模改修に併せて改修をしていく予定ですが、トイレの洋式化を先んじて進めることも検討しています。

大庭のホームページ
皆様からのご意見お待ちしています。

■http://www2s.biglobe.ne.jp/~mitiyosi/index.html
■Eメール　ohba@mxu.mesh.ne.jp

大庭みちよし 検索

No.161　2015 春号

袋井駅前第2土地区画整理事業の審議会会長として挨拶する大庭議員。ＪＲ袋井駅舎の落成と共に町並みが整備された。　2014.12.10

第1分団に新消防車が配備され、挨拶をする大庭議員。市内各分団に配備されている消防車両は全部で26台ある。　2015.1.11

企業誘致などを先進事例の相模原市の視察において、まちづくり対策特別委員長として挨拶する大庭議員。　2015.1.13

彫刻のまちづくりの一環として設置された静橋の照姫椿の像。今年度は、ＪＲ袋井駅南にもモニュメントが設置される　2015.3.13

大庭議員（錬士7段）が館長をしている剣道の道場「錬心館」が全日本剣道連盟から少年剣道教育奨励賞を授与された。32年間にわたるボランティアによる指導が評価されたもの。　2014.11.3

発行所　大庭通嘉後援会
事務所　〒437-0055 袋井市土橋187
TEL090−2138−9220
FAX 0538−42−1925